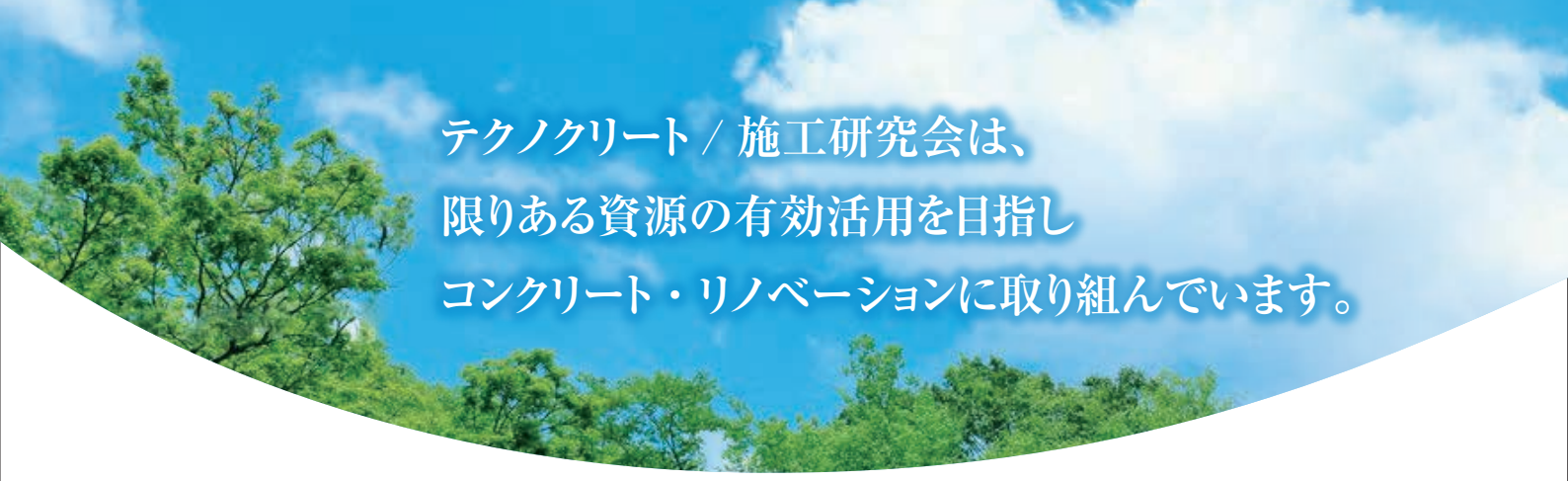
コンクリートの寿命、限りなく永遠に―。

Technocrete

テクノクリート／施工研究会



ごあいさつ

デンカ（株）保有の特殊混和材技術と

会員各社が保有する施工技術を融合した確かな技術を礎として活動してまいりました。

現在では、日本全国に数多くの会員を組織し

コンクリートの再生・補修・予防保全・補強技術をご提供できる体制を構築しております。

［設　立］　平成11年10月1日
［事務局］　〒103-8338 東京都中央区日本橋室町2-1-1　日本橋三井タワー8F
デンカ株式会社 特殊混和材部内
TEL.03-5290-5356　FAX.03-5290-5085

テクノクリート／施工研究会の取り組み

[1] 新しい材料・工法・技術の企画研究開発

新たな補修材・補強材の開発

施工会社と材料・機械メーカーが一体となり、中性化・塩害によるコンクリートの劣化を防止する補修材料をはじめ、コンクリート補修後の再劣化を食い止める防食材、コンクリート補修材、はく落防止の補強材などを開発しています。

新たな施工技術の開発

テクノクリート／施工研究会では、全国の会員からの声を開発に取り入れ、作業効率とコンクリート保護の有効性との両立を目指し工法研究、部材の開発に日々努力しています。

[2] 全国の施工ネットワークの確立

テクノクリート／施工研究会の会員は、デンカ（株）の特殊混和材料の取り扱いに必要な知識と技能を保有しており、その会員のネットワークは日本全国に拡がっております。施工研究会会員同士が情報・意見交換を行うことにより個々の会員が所有する施工技術を融合し、技術レベルの高度化、標準化を目指しています。

[3] 技術の高度化・標準化を目指した教育活動

施工事例発表会や現場・工場見学会を積極的に実施。また各種の講習会、学課・実技試験を行い、合格者には認定証を発行しています。このような教育活動を拡充することにより会員各社の施工技術の高度化・標準化を実現しています。

Repair・Protection

補修・補強

ひび割れ、断面欠損、空洞化、塩害劣化などコンクリートのさまざまな問題を確実に早く長期的に解決する工法です。

- 断面補修左官工法 [RIS工法]
- 断面修復吹付け工法 [スプリード工法]
- 塩害対策工法 [クロルフィックス工法]
- ひび割れ注入工法 [ハードロックⅡ注入工法]
- 裏込注入工法 [クリーングラウト工法]
- 繊維補強工法 [ハードロックⅡ工法]
- 床版上面増厚工法 [スーパーコンクリート工法]
- 無収縮モルタル注入工法 [プレタスコン工法]

Regeneration

再　生

中性化・塩害コンクリートそのものを健全な状態に再生できる画期的な工法です。

- 脱塩工法 [デソリート工法]
- 再アルカリ化工法 [アルカリート工法]

Prevention

予防保全

中性化・塩害・雨水などによるコンクリート劣化を未然に防止し、健全な状態を維持する工法です。

- はく落防止対策工法 [HV工法]
- 可視化はく落防止対策工法 [NAV-G工法]
- 表面保護・省工程はく落防止対策工法 [ワンステップガード工法]
- シラン系含浸工法 [RISガートコート工法]
- マクロセル腐食防止工法 [ガルバシールド工法]

会員専用工法のご紹介

次世代型脱ポリマー湿式断面修復材!

テクノショット工法

NETIS 登録 No.KT-120120-A

「テクノショット工法」は従来のポリマーセメントモルタルの特長である**高い耐久性を確保**し、課題であった**長距離圧送性、養生時間・工期の短縮、作業効率、経済性を大幅に向上**させた脱ポリマー系湿式吹付け断面修復工法です。

テクノショット工法特長

工期短縮性

従来のポリマーセメントモルタルと比べ流動性が高いため、高い吐出量、長距離圧送、短時間硬化を可能とし、工期短縮を実現します。

厚付け性

特殊硬化促進剤をノズル先端混合添加することにより、厚付け性が向上。横向き方向最大10cm(1層)の厚付けを可能とします。

コテ仕上げ性

急結材でなく、特殊硬化促進剤先端混合のため吹付け後のコテ仕上げが可能です。

粉じん低減性

特殊硬化促進剤を先端混合するため、低粉じん、低リバウンドを可能とします。

環境低減性

脱ポリマータイプにて硬化体溶出による水質影響を低減させるため、浄水場や導水路への適用を可能とします。

耐久性

ポリマーセメントモルタルと劣らぬ高い耐久性を有します。脱ポリマータイプのため電気抵抗値を低く抑え、電気防食用モルタルとしての適用を可能とします。

経済性

作業効率の向上により、工期短縮等のコスト削減に寄与します。

強度発現性

初期・長期において優れた強度発現性を示します。

	工期短縮	一回の吹付厚み	粉じん低減性	耐久性	経済性	長距離圧送	寒冷地	強度発現性	比較試験の動画
従来工法	△	○	○	○	△	△	△	○	
テクノショット工法	○	◎	○	○	○	◎	◎	◎	

※硬化促進剤の添加率の調整によりコテ仕上げ可能

※極寒期(-10℃)の施工・急速施工・大幅厚付け施工は、テクノショットモルタル急硬タイプを使用

施工体制の確立… テクノクリート / 施工研究会員各社による施工体制を確立しており、全国対応可能です。

Technocrete

テクノクリート／施工研究会 事務局

〒103-8338
東京都中央区日本橋室町 2-1-1 日本橋三井タワー 8F

デンカ株式会社 特殊混和材部内
TEL03-5290-5356 FAX03-5290-5085
E-mail:sekokenkyukai@denka.co.jp

詳しい研究会の情報はホームページをご覧ください。
http://www.technocrete.gr.jp

テクノクリート 検索

会員数 全国66社（2016年10月1日現在）

問合せ先